ちいさなたね [乳児おたより]

あり組・ひよこ組・りす組

日に日に寒くなり、ようやく冬がやってきました。子どもたちは大学の森へ散歩に出かけ、小枝や石を大切そうに手に持って保育者に見せたり、ベンチに集まってつかまり立ちをしてお互いの顔を寄せたりして遊んでいます。園庭では砂遊びが大人気でスコップで砂を容器に入れ、最初はすくえる量が少なかったですが、今ではたくさんの砂をすくって入れていて驚くこともありました。また、手で砂を握ったり広げたりと存分に砂の感触を味わって過ごしていました。外遊びの準備では、意欲的に自分のマークから帽子を取り出し、テラスに出ると靴箱から靴を出して椅子に座り、保育者と一緒に靴を履いています。時には自分の帽子や靴だけではなく、友だちのもも出して渡しにいく姿も見られ、一緒に過ごす喜びや楽しさ、また、友だちの存在の大切さを子どもたちから感じます。日に日に関わりが増え、やりとりを楽しむ姿や、生活面でも自分でやってみようとする姿を大切に見守ったり

関わったりし、育ちを支えていきたいと思います。 11月20日(月)からアドベントに入り、園内や保育室のクリスマスの 飾りが増えてきました。子どもたちと一緒にクリスマスの歌を歌ったり イエスさまのお誕生の話をパネルシアターで見たり聞いたり、アドベント カレンダーの窓を毎日一つずつ開けながら神さまの大きな恵みに感謝し、 嬉しいクリスマスを子どもたちと一緒に迎えたいと思います。また、手先を 使ったシール貼りをじっくり楽しみながらお家の方へのプレゼント 作りを楽しむ予定です。一人ひとりの表現を大切にしたオーナメントを 楽しみにしていてください。

日に日に寒さが増し、冬の訪れを感じる季節となってきました。子どもたちはお化けになって追いかけっこを楽しんだり、友だちと手をつないで散策をしたりと関わりを広げながら寒さに負けず元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいます。先月はぞう組のお店屋さんごっこに招待してもらい、スーパーボールすくいやヨーヨー釣り、ぞう組オリジナルの paypayカードを使った買い物ごっこ等を楽しみました。ぞう組のお兄さんお姉さんが手をつないで遊びに誘ってくれ、その優しい関わりに子どもたちの緊張も徐々にほぐれ、やりとりを楽しむ姿が見られました。保育室でも「いらっしゃいませー!」「〇〇円です!」「ペいペいで!」と楽しかったお店屋さんごっこの模倣をして遊んでいました。

ごっこの模倣をして遊んでいました。 また、収穫感謝礼拝では野菜や果物等、神さまからの豊かな実りに感謝しれ拝を守りました。「これはなす!」「みかん!」と食材の名前を喜んで言ったり、「いいにおい…」「りんごさんつるつる」と食材に目を輝かせながら触れたりしていました。これからも神さまの恵みに感謝する気持ちを大切に過ごしていきたいと思います。野菜や果物をお持ちいただき、ありがとうございました。今月末頃から、給食の献立が麺類の日にフォークを使って食べる経験をする予定です。一人ひとりに合わせて手を添えたり、声をかけたりしながらフォークの使い方を伝え、無理のないように進めていきます。

展への経験を9 の予定で9。一人ひとりに合わせて手を添えたり、声をかけたりしながらフォークの使い方を伝え、無理のないように進めていきます。 11 月 20 日(月)からアドベントに入り、室内に少しずつクリスマスの飾りを飾っています。子どもたちとイエスさまのお誕生の話を聞いて礼拝を守ったり、アドベントカレンダーに毎日一人ずつ飾りを付けたりしながらウリスマスを楽しみに待っています。お家の方へのクリスマスプレゼントは、花のような形のスタンプを楽しんだり、丸・三角・四角に切ったフェルトや星を飾ったりしてリース作りを楽しむ予定です。子どもたち一人ひとりの表現を大切にしながら進めていきます。素敵なプレゼントを楽しみにしていてください。

風が冷たくなり冬の訪れを感じる季節になりました。収穫感謝礼拝ではお持ちいただいた野菜や果物を実際に見たり触れたりにおいを感じたりし、神さまからの豊かな恵みに感謝して過ごしました。秋の遠足では友だちと手をつないで歩き、初めて園外に遊びに行きました。遠足の日まで「もうすぐ遠足に行くんだって」「お弁当早く食べたいな」と楽しみに待ち、当日は少しドキドキしながらも嬉しそうにリュックを背負ってくる姿に喜びが伝わってきました。門戸厄神に到着すると、お家の方と来た時のことを嬉しそうに話してくれたり、新幹線が見えるとみんなで喜んだりと楽しい時間を過ごすことができました。

11月20日(月)からはアドベントに入り、クリスマスの話を聞いたり、 園内の装飾が増えたりすることを喜んで過ごしています。好きな形の 飾りを選んで作ったアドベントカレンダーのオーナメントを毎日一人ずつ 飾ることを楽しみにしています。「今日はだれかなあ」と順番が来るのを 心待ちにしている子どもたちです。嬉しい気持ちでクリスマスを迎えたいと 思います。今月は先月に引き続きプレゼント制作を楽しみます。 好きな色の台紙や折り紙を選び、紐通しを楽しんだり、ハサミで 一回切りをした紙をのりで貼って表現したり、子ども一人ひとりの

やってみようとする気持ちやそれぞれの表現を大切にしながら 進めていきます。心のこもったプレゼントを楽しみにしていてください。 2023年度 12月

聖和乳幼児保育センター

『おおきい ちいさい』という、 絵に合わせて「おおきい」と「ちい さい」の言葉を繰り返す絵本があります。 ある日、Aくんが一人でめくっていると、 小さな話し声が聞こえてきました。耳を すますと「きー」(おおきい)、「ちゃい」 (ちいさい) とAくんの言葉で表現を楽しんでいました。保育者と繰り返し楽しむうちに、 Aくんにとって大好きな絵本の1冊になっている様子が伝わってきました。 これからも一緒にやりとりを楽しむ中で、 子どもの言葉や表現との出会いを 大切にしていきたいと思います。

「いっしょにつなご!」と 友だちと手をつなぎたくて誘ったり、 「OOちゃんはどこ?」と、友だちの 名前を呼んで探したりして遊ぶ姿が 増えています。

「OOちゃん、おやすみだね。あそび たかったな〜」と友だちの存在を大切に 思う姿もあり、少しずつお友だちへの 関心が広がっている様子に心があたた まります。これからも子ども同士の 関わりを大切に見守って いきたいと思います。

> 昼食時、ご飯を配膳して いたときのこと。

「うね、おいしそう~!」と言っていた A ちゃん。それを聞いた B くんが 「ぼくもそう思った~!」と言って、 担任が配膳をしている間、会話を楽しんでいました。友だちの気持ちに気づき、 笑い合う姿を微笑ましく思った一場面 でした。これからも子どもたち同士の やりとりや一人ひとりの表現を 大切に見守りながら過ごして いきたいと思います。